



きほんの フー

春のうた

次の詩を読んで、問題に答えましょう。

教科書

① 12～13 ページ

答え

1 ページ

勉強した日

月 日

学習の目標

- 詩のリズムをとらえよう。
- 場面の様子やかえるの気持ちを想像しながら読もう。

おわったら
シールを
はろう

春のうた

草野 心平

かえるは冬のあいだは土の中にいて
春になると地上に出てきます。
そのはじめての日のうた。

ほっ まぶしいな。
ほっ うれしいな。
みずは つるつる。
かぜは そよそよ。
ケルルン クック。
ああいにおいだ。
ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。
ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。
ケルルン クック。



1 この詩は、いつ、だれが、何をした日のことをうたっていますか。

から地上に

になって、

出てきた日。

が土の中

2

この詩は、形がにている行がならんでいることで、リズムのある詩になっています。次の行と形がにている行を書きましょう。

① ほっ まぶしいな。

② みずは つるつる。

③ ほっ いぬのふぐりがさいている。

3

「ケルルン クック。」について答えましょう。

にた言葉がならんでいて、字数も同じくらいの行をさがそう！



(1) よく出る ● かえるの何を表していますか。一つに○をつけましょう。

ア () 足音

イ () 鳴き声

ウ () いびき

(2) かえるのどんな様子を表していますか。一つに○をつけましょう。

ア () 春のにぎやかさとりのこされて、なんとなくさびしそうな様子。

イ () 春のけしきが自分の予想とちがい、おどろいている様子。

ウ () 春になったのがうれしくて、心はずんでいる様子。

4 よく出る ● この詩は、かえるのどんな気持ちを表していますか。一つに○をつけましょう。

ア () 春がやってきたのはとてもうれしいけれど、冬が終わるのは少しさびしいなあ。

イ () 長い間待ちのぞんでいた春はとても気持ちがよくて、うきうきしてくるなあ。

ウ () ひさしぶりに地上に出たら、春のけしきがまぶしすぎて、なんだか落ち着かないなあ。

かえるのとくちようを
考えてみよう！



「春のうた」の作者の草野心平さんは、かえるが出てくる詩をたくさん作ったので、「蛙の詩人」とよばれているよ。かえるのいろいろな鳴き声を詩にした作品もあるんだよ。

ものしりメモ



きほんの フック

白いぼうし

1 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう

教科書 ① 15〜29 ページ

答え 1 ページ

勉強した日

月 日

学習の目標
登場人物の様子を表す言葉に気をつけながら読んでいこう。
場面と場面のつながりを見つけよう。

おわったら
シールを
はろう

漢字練習ノート3 ページ

新しい漢字

練習しよう。
筆順 1 2 3 4 5

18	飛	と	ヒ	9画
17	達	タ	ツ	12画
16	信	シ	ン	9画

20	建	ケン たてる	9画
19	席	セキ	10画

26	例	レイ	8画
21	菜	サイ	11画

1 漢字の読み

読みがなを横に書きましょう。

- 1 信号
- 2 速達
- 3 飛び出す
- 4 運転席
- 5 建物
- 6 菜の花
- 7 友達
- 8 例

「建物」は「建て物」のように送りがなは入れないよ。



○新しく学習する漢字
●読み方が新しい漢字
◆特別な読み方を示す言葉

3 言葉の意味

○をつけましょう。

- 1 16 ほりばたでお客を乗せる。
ア 昔、おほりのあった場所。
イ おほりを通りすぎた所。
ウ おほりのすぐそば。
- 2 16 お客のしんしが話しかける。
ア 上品でれいぎ正しい男の人。
イ いばりちらしている男の人。
ウ 太って体の大きい男の人。

2 漢字の書き

漢字を書きましよう。

1 そく たつ で送る。

2 何が と び出す。

3 車の うん てん せき 。

4 大きい たて もの 。

内容を つかもう！

★ 白いぼうし

教科書を読んで答えましよう。

教科書 16〜24 ページ

1 場面ごとの内容を次のようにまとめました。

一つ目の場面
松井さんとしんしが会話をする。

二つ目の場面

松井さんは

を見つけてつまみ上げ、中にいた
ちようをにがしてしまふ。

三つ目の場面

女の子が松井さんの車に乗る。

四つ目の場面

女の子はいなくなり、野原には

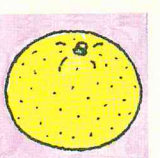
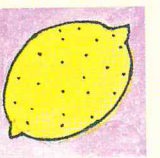
が飛んでいる。

ぼうし ちよう 虫とりあみ

2

二つ目の場面で、松井さんがぼうしの中においたものは何ですか。正しいほうに○をつけましよう。

ア () イ ()



3

1 16 ほりばたでお客を乗せる。

- ア 昔、おほりのあった場所。
- イ おほりを通りすぎた所。
- ウ おほりのすぐそば。

2 16 お客のしんしが話しかける。

- ア 上品でれいぎ正しい男の人。
- イ いばりちらしている男の人。
- ウ 太って体の大きい男の人。

3 17 夏がいきなり始まったような日。

- ア () 一つのまにか。
- イ () とつぜん。
- ウ () 少しだけ。

4 17 そでをうでまでたくし上げる。

- ア () 短く切りそろえる。
- イ () きつくしぼりあげる。
- ウ () 手でまくって引き上げる。

5 18 あわててぼうしをふり回す。

- ア () とても急いで。
- イ () 考えながらゆっくりと。
- ウ () やる気がなさそうに。

6 19 かたをすぼめる。

- ア () 大きく横にゆらす。
- イ () せまく小さくする。
- ウ () 急にひくく下げる。

7 23 わらいがこみ上げてくる。

- ア () あふれ出てくる。
- イ () 声がひびきわたる。
- ウ () いっまでもつづく。



ものしりメモ

「白いぼうし」は、タクシーの運転手、松井さんを主人公とする『車のいろは空のいろ』という本の中に入っている物語の一つだよ。

練習の7-1

白いぼうし

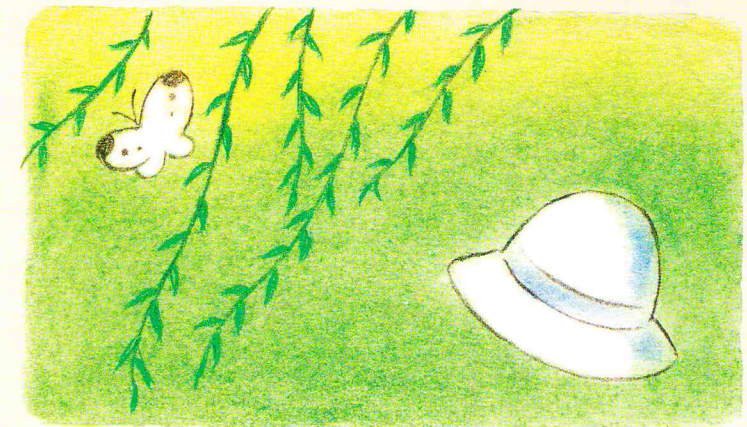
次の文章を読んで、問題に答えましょう。

アクセルをふもうとしたとき、松井さんは、はっとしました。「おや、車道のアんなすぐそばに、小さなぼうしが落ちているぞ。風がもうひとふきすれば、車がひいてしまうわい。」

緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちょこんとおいてあります。松井さんは車から出ました。

そして、ぼうしをつまみ上げたたん、ふわっと何かが飛び出しました。

「あれっ。」
もんしろちょうです。あわててぼうしをふり回しました。そんな松井さんの目



15 10 5

の前を、ちょうはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなっていました。

「ははあ、わざわざここにおいたんだな。」ぼうしのうらに、赤いしゅう系で、小さくぬい取りがしてあります。

「たけやまようちえん たけの たけお」

小さなぼうしをつかんで、ため息をついている松井さんの横を、太ったおまわりさんが、じろじろ見ながら通りすぎました。

「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、どんなにがっかりするだろう。」

ちよつとの間、かたをすぼめてつつ立っていた松井さんは、何を思いついたのか、急いで車にもどりました。

運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。まるで、あたたかい日の光をそのままめつけたような、見事な色でした。すっぱい、いいにおいが、風であたりに広がりました。

松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、飛はないように、石でつばをおさえました。

30 25 20

〈あまん きみこ「白いぼうし」による〉

できる+ビ
●様子や気持ちを表す言葉に注意して読もう。
●この場面での松井さんの気持ちを考えよう。

おわたらシールをはろう

1 「松井さんは、はっとしました」とありますが、なぜですか。

車道のすぐそばに、

--	--	--	--	--	--

が落ちていたから。

2 「松井さんは車から出ました。」とありますが、車から出て、何をしようとしたのですか。一つに○をつけましょう。

ア () 白いぼうしが風に飛ばされるかどうか、よく見ようとした。

イ () 白いぼうしを、車にひかれない安全な場所にうつそうとした。

ウ () 白いぼうしの中に何が入っているのか、たしかめようとした。

3 「あわててぼうしをふり回しました。」とありますが、松井さんは何をしようとしたのですか。

4 ぼうしは、何のためにおかれていたのですか。

ちようを () ため。

5 「ため息をついている」ときの松井さんは、どんな気持ちでしたか。一つに○をつけましょう。

「せっかくのえものが……」の部分に注目しよう。

ア () ぼうしをわすれていくなんて、こまった子どもだな。

イ () ぼうしを持ち主にとどけるには、どうしたらいいのだろう。

ウ () せっかくのちようをにがしてしまい、悪いことをしたな。

6 「何を思いついたのか、急いで車にもどりました」とありますが、松井さんは、どんなことを思いついたのですか。

にげた () の代わりに、ぼうしの

下に () を入れておくこと。

7 「松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、飛はないように、石でつばをおさえました。」とありますが、この行動から松井さんはどんな人だと読み取れますか。一つに○をつけましょう。

ア () くよくよと考えこむ人。

イ () 落ち着きのない人。

ウ () 思いやりのある人。

言葉の意味

19行 わざわざ…ふつうならしないことを、特別にする様子。
26行 がっかり…思いどおりにならず、元気がなくなる様子。

もんしろちょうは春に多く見られるこん虫だけど、ちいきによっては、秋の終わりまで飛んでいるすがたを見ることができるよ。

ものしりメモ



練習の7-1ク2

白いぼうし



次の文章を読んで、問題に答えましょう。

1 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう

教科書

① 15～29ページ

答え

2ページ

勉強した日

月 日

できるたび

● 場面と場面のつながりに着目しながら、松井さんの様子が変わった理由を読み取ろう。

おわったらシールをはろう

1 **よく出る** ● 松井さんが車にもどると、だれがすわっていましたか。

2 「道にまよったの。行っても行っても、四角い建物ばかりだもん。」とありますが、この部分を声に出して読むとき、どのように読めばよいですか。一つに○をつけましょう。

前後の部分に注意して、女の子の様子を読み取ろう。

ア (大きくて元気な声。)

イ (やさしくて美しい声。)

ウ (小さくて弱々しい声。)

3 「水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子」は、何をしようとしてやってきたのですか。

() を開けて、つかまえておいた

() を、お母さんに

おさえてもらおうとやってきた。

4 「おどろいただろうな。」とありますが、松井さんは男の子の顔をどのように想像していますか。

目

口

5 「ひとりでにわらいがこみ上げてきました。」とありますが、なぜですか。一つに○をつけましょう。

松井さんは、頭の中でどんな場面を思い浮かべているかな。

ア (男の子が夏みかんを見ておどろく様子を想像して、楽しかったから。)

イ (ちようをにがしてあげて、とてもよいことをしたと思ったから。)

ウ (男の子のお母さんのふしぎそうな顔が頭にうかんで、おもしろかったから。)

6 **よく出る** ● 「松井さんはあわてました。」とありますが、なぜですか。一つに○をつけましょう。

ア (見たことのない場所にきてしまったから。)

イ (車に乗っていたはずの女の子がいなかったから。)

ウ (まわりにちようがたくさん飛んでいたから。)

言葉の意味

11行 ちょこんと…小さいものが、きちんとすわっている様子。 14行 かかえる…うてでかくようにして持つ。 32行 ひとりでに…何もしないのにしげんに。

「ぼくが、あのぼうしを開けるよ。だから、お母ちゃんは、このあみでおさえてね。あれっ、石がのせてあらあ。」客席の女の子が、後ろから乗り出して、せかせかと言いました。

「早く、おじちゃん。早く行ってちょうだい。」

松井さんは、あわててアクセルをふみました。やなぎのなみ木が、みるみる後ろに流れていきます。

「お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうと開けたとき——。」と、ハンドルを回しながら、松井さんは思います。「あの子は、どんなに目を丸くしただろう。」

すると、ぱかっと口を○の字に開けている男の子の顔が、見えてきます。「おどろいただろうな。まほうのみなんと思うかな。なにしろ、ちようが化けたんだから——。」

「ふふふっ。」

ひとりでにわらいがこみ上げてきました。でも、次に、

「おや。」

松井さんはあわてました。バックミラーには、だれもうつっていません。ふり返っても、だれもいません。



〈あまんきみこ「白いぼうし」による〉

夏みかんは、黄色く色づいたばかりのころは、すっぱすぎてそのままでは食べられないんだ。昔はお酢の代わりに使われていたこともあったんだよ。

ものしりメモ

本は友達



きほんの
ワーク

図書館の達人になろう 漢字の組み立て

教科書

① 30～33ページ

答え

3ページ

勉強した日

月 日

学習の目標

● 図書館のくふうを知る
● 漢字を組み立てている部分の名前や、表す意味をおぼえよう。

おわったら
シールを
はるう

漢字練習ノート3～4ページ

新しい漢字

練習しよう。

筆順 1 2 3 4 5

教科書 31ページ

料	良	照
リョウ	リョウ	ショウ
10画	7画	13画
①	①	①
料	良	照

教科書 33

熱	府
ネツ	フ
15画	8画
①	①
熱	府

教科書 33

児	関
ジ	カン
7画	14画
①	①
児	関

1 漢字の読み

読みがなを横に書きましょう。

○新しく学習する漢字
●読み方が新しい漢字
◆特別な読み方をする言葉



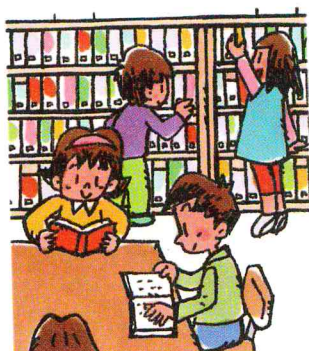
- | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|
| 1 | 音 | 2 | 良 | 3 | 雲 |
| 4 | 新 | 5 | 感 | 6 | 照 |
| 7 | 熱 | 8 | 通 | 9 | 府 |
| 10 | 広 | 11 | 園 | 12 | 関 |
| | 大 | | 児 | | 所 |
| | | | | | 立 |
| | | | | | 明 |
| | | | | | 海 |

★図書館の達人になろう

3 図書館の本の背には、ラベルがはられています。次のラベルの「913」は何を表していますか。一つに○をつけましょう。

913
も

- ア (本が発行された月日)
イ (本の分類を表す番号)
ウ (本の作者を表す番号)



ラベルは、本をさがしやすくするための図書館のくふうの一つだよ。



★漢字の組み立て

4 ()に合う言葉を、 から選んで書きましょう。

1 は、主に

()に關係のある漢字を作る。

2 は、主に

()に關係のある漢字を作る。

3 は、主に

()に關係のある漢字を作る。

植物 火
雨や天気



5 漢字を組み立てている部分のうち、 の部分の名前を書き

ましょう。

1	2	3	4
□	□	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□

6 次の漢字の部分に組み合わせることができる部分を から選んで、漢字を二つずつ作りましょう。

1	2
心	之
□	□
□	□

反 音
垂 周

7

次の漢字は、同じ部分をもつもの同士です。その部分の名前を書きましょう。

1	2	3
庭・庫	守・客	間・開
□	□	□
□	□	□

2 「ふ」は、かたかなの「ウ」に形がにているね。



1	2	3	4
資	ひ	あ	五
□	□	□	□
□	□	□	□

資 を見る。
ひ りがつづく。
あ いお湯。
五 五さいの

1 の「りよう」は「料」と形がにているから注意しよう。



2 漢字の書き

漢字を書きましょう。

全ての漢字が、いくつかの部分から組み立てられているわけではないよ。「月」「火」「木」などは、一字が一つの部分でできているんだよ。



まどめのテスト

白いぼうし

漢字の組み立て／漢字辞典の使い方

1 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

アクセルをふもうとしたとき、松井さんは、はっとしました。「おや、車道のアんなすぐそばに、小さなぼうしが落ちているぞ。風がもうひとふきすれば、車がひいてしまうわい。」

緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちよこんとおいてあります。松井さんは車から出ました。そして、ぼうしをつまみ上げたたん、ふわっと何かが飛び出しました。

「あれっ。」

もんしろちょうです。あわててぼうしをふり回しました。そんな松井さんの目の前を、ちようはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなっていました。

「ははあ、わざわざここにおいたんだな。」ぼうしのうらに、赤いししゅう糸で、小さくぬい取りがしてあります。

「たけやまようちえん たけの たけお」

小さなぼうしをつかんで、ため息をついている松井さんの横を、太ったおまわりさんが、じろじろ見ながら通りすぎました。

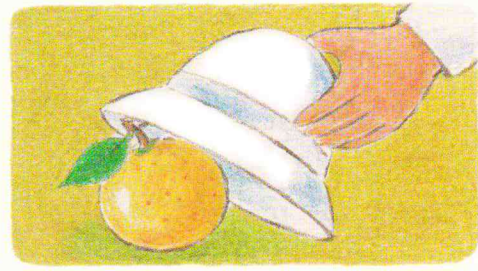
「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、どんなにがっかりするだろう。」

ちよつとの間、かたをすばめて

つつ立っていた松井さんは、何を思

いついたのか、急いで車にもどりました。

運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。まるで、あたたかい日の光をそのままそめたような、見事な色でした。すっぱい、いいにおいが、風であたりに広がりました。



〈あまん きみこ「白いぼうし」による〉

教科書

① 15～39 ページ

答え

3 ページ

なポ

記録
で表示
設定

る
ストを
コード



時間
20分

とく点

/100点

おわったら
シールを
はろう

勉強した日

月 日

1 よく出る

「おや、車道のアんなすぐそばに、小さなぼうしが落ちているぞ。」とありますが、このときの松井さんはどんな気持ちでしたか。一つに○をつけましょう。〔10点〕

ア () ぼうしが飛ばされて車にひかれないか心配だ。

イ () なぜだれもぼうしに気づかないのかふしぎだ。

ウ () だれが落としたぼうしなのかとても気になる。

2 よく出る

「ははあ、わざわざここにおいたんだな。」とありますが、松井さんは、ぼうしがおいてあったのは何のためだと思いましたか。〔20点〕

3 よく出る

「かたをすばめてつつ立っていた」とありますが、このときの松井さんはどんな様子でしたか。一つに○をつけましょう。〔15点〕

ア () ひどくおこっていた。

イ () しよんぼりしていた。

ウ () はずかしがっていた。

4

「その夏みかん」とありますが、夏みかんはどんな色で、どんなにおいでしたか。〔15点〕

まるで、あたたかい () をそのままそめた

けたような、 () な色で、 ()

いいにおい。

5

松井さんは、どんなことを思って、夏みかんに白いぼうしをかぶせたと思いますか。考えて書きましょう。〔20点〕

書いてみよう!

2

「算」という漢字を漢字辞典でさがすときの調べ方をまとめましょう。〔15点〕

●「音訓さくいん」で引くときは、音読みの「 () 」のところをさがします。

●「部首さくいん」で引くときは、部首の画数が () 画のところ、部首である「 () 」をさがします。

●「総画さくいん」で引くときは、総画数が () 画のところをさがします。

夏みかんの正式名は「ナツダイダイ」。夏期に食べられるので、ふつうのみかんと区別して「夏みかん」というよ。かおりやすっぱさを生かして、マーマレードなども作られるよ。

言葉の意味

29行 そめつける…そめて、その色にする。
33行 つば…ぼうしのまわりについているふち。

菜
くさかんむり菜
はのひ
とめる読み方
サイ使い方
菜園・野菜
菜の花・青菜同じ読み方の漢字。
建つ…たてものができる「という意味。
ビルが建つ。
立つ…体を起こして足で立てる「という意味。
大地に立つ。

注意!

11画

「サ」のつく漢字。
「ハ」は、植物に係のある漢字につくよ。
「ナ」のつく漢字…花草 茶 など。

おぼえよう!

建
えんによう建
つき出す
長くはらう読み方
ケン・(コン)
たてる・たつ使い方
建国・建設
建物・家が建つ

9画

達
しんによう
しんにゆう達
横ぼう二本
一画読み方
タツ使い方
速達・発達
目標に達する

12画

漢字のてき方。
言(言葉) 「人」の「言葉」が心の中と同じになることから、「まこと」という意味を表すよ。
イ(人)

てき方

信
にんべん信
あける読み方
シン使い方
信号・自信
自分を信じる

9画

きほんの
白いぼうし
図書館の達人になろう

1 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう

料
とます料
とめる読み方
リョウ使い方
資料・料金・料理漢字のてき方。
例…「ならば」ことを表す。
イ…「人」を表す。
人がならんでいることから、「同じようなものがならぶ」様子を表すよ。

てき方

10画

例
にんべん例
とめる
はらう読み方
レイ使い方
例をあげる・例外
例え

8画

席
はばへん席
はねる読み方
セキ使い方
運転席・客席
席に着く

10画

筆順に注意。
「飛」は、「飛」「飛」「飛」と書くよ。
上の「フ」を書いて、次に真ん中のたての線、最後に下の「フ」の順だよ。

注意!

飛
とぶ飛
はねる読み方
ヒ使い方
飛行・飛来
飛び出す・上に飛ばす

9画

「読み方」の赤い字は教科書で使われている読みです。③はまちがえやすい漢字です。

勉強した日
月 日教科書
①15～31ページ



練習の7ワーク

白いぼうし 図書館の達人になろう

教科書 上 15~31 ページ
答え 1 ページ

1 新しい漢字を読みましょう。

1 15 ページ
信号 がかわる。

2 速達 で送る。

3 ものが 飛び出す。

4 運転席 のまど。

5 四角い 建物。



6 菜 の花横町。

7 友達 と話す。

8 例 をあげる。

9 30 ページ
資料 を読む。

10 音声 を聞く。

2 新しい漢字を書きましょう。「」は、送りがなも書きましょう。

1 15 ページ
しんごう が青になる。

2 そく たつ を受け取る。

3 外に とび 出す。

*11 ここから はってん
飛行 機に乗る。

*12 ビルの 建設。

*13 家が 建つ。

*14 野菜 を食べる。

*15 例 えばの話をする。

4 車の うんてんせき。

5 高い たてもの。

6 黄色い な の花。

7 ともだち をよぶ。

8 よい れい となる。

9 30 ページ
資 料 をさがす。

10 おんせい が聞こえる。

*11 ここから はってん
ひこうき がとう着する。

*12 学校を けん 設する。

*13 やさい を買う。



3 漢字を使って文を書きましょう。(は、送りがなも書きましょう。は、習った漢字です。)

1 ゆうびんきょくでそくたつをだす。

3 たてもののよこをとる。

5 ぐたいてきなれいをさがす。

2 とりがじゆうにそらをとぶ。

4 いちめんのなのはな。

6 はっぴょうのしりょうをくばる。

*の漢字は新出漢字のべつの読み方です。



練習の711

漢字の組み立て

教科書

上 32 ~ 33 ページ

答え

1 ページ

勉強した日

月 日

よ

録表示定

をド



1 あたらしい漢字を読みましょう。

良薬 が手に入る。

雲海 が広がる。

新雪 がつもる。



地しんを 感知 する。

日照 りになやむ。

照明 をつける。

2 あたらしい漢字を書きましょう。〔 〕は、送りがなも書きましょう。

熱 い湯に入る。

バスで 通学 する。

府立 の学校。

広 大 な土地。

園 児 と話す。

関 所 を通る。

*13 ここから はってん 良 い点を取る。

*14 月が地上を 照 らす。

*15 熱 心 に話す。

*16 関 係 がある。

*17 関 わりがない。

*13 ここから はってん よ い品物を買う。

*14 あかりが顔を 照 らす。

*15 ねっしん なまなごし。

*16 かんけい のない話。

*17 かわりをもつ。



3 漢字を使って文を書きましょう。() は、送りがなも書きましょう。 — は、習った漢字です。

1 りょうやくを かい はつする。

2 きょうとふりつのたいいく かん にいく。

3 せきしよについて しら べる。

1 りょうやく を飲む。

2 うんかい の写真。

3 しんせつ の上を歩く。

4 きけんを かんち する。

5 ひでり がつづく。

6 部屋の しょうめい 。

7 あつ い スープ。

8 つうがく に電車を使う。

9 おおさか 大阪 ふりつ のプール。

10 こうだい なうちゅう。

11 ようち えんじ の絵。

12 せきしよ をこえる。

*の漢字はしん出漢字のべつの読み方です。

答えとてびき

「答えとてびき」は、
とりはずすことが
できます。



光村図書版

国語 **4** 年

使い方

まちがえた問題は、もういちどよく読んで、
なぜまちがえたのかを考えましょう。正しい
答えを知るだけでなく、なぜそうなるかを考
えることが大切です。

春のうた

2・3ページ

きほんのワーク

- 1 春・かえる・はじめて
① ほっ うれしいな。
② かぜは そよそよ。
③ ほっ おおきなくもがうごいてくる。
- 2 ① ほっ ……な。② は「……は……」。
③ は「ほっ ……が……」という形になっ
ています。
- 3 ① 「かえるは冬のあいだは土の中にいて／春
になると地上に出てきます。／そのはじめて
の日のうた。」に注目します。
- 4 ① 言葉のひびきや使い方、字数のにている行
が、となり合っていることに注目しましょう。
② は「ほっ ……な。」「……は……」。
③ は「ほっ ……が……」という形になっ
ています。

てびき

- 1 「かえるは冬のあいだは土の中にいて／春
になると地上に出てきます。／そのはじめて
の日のうた。」に注目します。
- 2 言葉のひびきや使い方、字数のにている行
が、となり合っていることに注目しましょう。
② は「ほっ ……な。」「……は……」。
③ は「ほっ ……が……」という形になっ
ています。
- 3 ① 「かえるは冬のあいだは土の中にいて／春
になると地上に出てきます。／そのはじめて
の日のうた。」に注目します。
- 4 ① 言葉のひびきや使い方、字数のにている行
が、となり合っていることに注目しましょう。
② は「ほっ ……な。」「……は……」。
③ は「ほっ ……が……」という形になっ
ています。

白うばうし

4・5ページ

きほんのワーク

- 1 ① しんごう ② そくたつ ③ と
④ うんでんせき ⑤ たてもの ⑥ な
⑦ ともだち ⑧ れい
- 2 ① 速達 ② 飛 ③ 運転席 ④ 建物
⑤ ウ ⑥ ア ⑦ イ ⑧ ウ ⑨ ア ⑩ イ
- 3 ① ウ ② ア ③ イ ④ ウ ⑤ ア ⑥ イ ⑦ ア
- ★ 内容をさがそう！
1 ぼうし・ちよう 2 イ

6・7ページ

練習のワーク①

- 1 小さなぼうし
① (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
② (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
③ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
④ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑤ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑥ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑦ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑧ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑨ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。
⑩ (もんしろ) ちようをつかまえようとした。

てびき

- 1 すぐ後に、「おや、車道にあんなすぐそば
に、小さなぼうしが落ちていそうぞ。」とある
ことに注意しましょう。松井さんは、「アク
セルをふもうとしたとき」に、ぼうしに気づ
いてはつとしたのです。
- 2 「風がもうひとふきすれば、車がひいてし
まうわい。」と思った松井さんは、ぼうしを

車にひかれないところにうつそうとしたので
す。松井さんのやさしい気持ちが読み取れる
部分です。

3 自分がつまみ上げたぼうしの下から、もん
しろちやうが飛び出してきたので、松井さん
はつかまえようとして、ぼうしをふり回した
のです。

4 松井さんは、つまみ上げたぼうしの下から
もんしろちやうが飛び出してきたことで、ぼ
うしは落ちていたのではなく、ちやうをにが
さずにつかまえておくためにおいてあったこ
とを知ったのです。

5 松井さんがぼうしをつまみ上げたために、
もんしろちやうはにげてしまします。自分の
せいで、ぼうしの持ち主の「たけの たけ
お」という子どもが「がっかりするだろう」
と考えて、松井さんはすまない気持ちになっ
たのです。その気持ちが書かれているウが正
解です。アは、松井さんは、ぼうしがわすれ
られたものでないことはもう分かっているし、
ぼうしの持ち主に対して「こまった子ども」
という気持ちももっていないので、まちがい
です。イは、松井さんはぼうしのことではな
く、にがしたちやうのことで「ため息をつい
ている」のだから、まちがいです。

6 松井さんは、車にもどると、運転席から夏
みかんを取り出しています。そして、「その
夏みかんに白いぼうしをかぶせると」とある
ように、夏みかんをぼうしの下においていま
す。

7 松井さんは、にがしてしまつたちやうの代
わりに自分の夏みかんをおいてあげています。
ちやうがにげてしまつたと知つたときの男の
子の気持ちを「どんなにがっかりするだろ
う」と思いやることのできる、やさしい人だ
と分かります。

8・9 ページ

練習のワーク2

1 おかっぱのかわいい女の子
ウ

2 ぼうし・ちやうちよ〔またはちやう〕・(水色の
新しい) 虫とりあみ
目…丸くしている。

3 口…ぽかっとOの字に開けている。

4 ア
5 イ

てびき

1 松井さんが車にもどつたとき、「ちよこん
と後ろのシートにすわつてい」たのは、「お
かっぱのかわいい女の子」です。

2 女の子が、「つかれたような声」で松井さ
んに話しかけていることから、元気のない声
であると考えられます。

3 「ぼくが、あのぼうしを開けるよ。だから
お母ちゃん、このあみでおさえてね。」と
あることから読み取りましょう。男の子は、
ぼうしの下につかまえておいたちやうちよを、
お母さんと二人で虫とりあみでとろうとして

やってきたのです。

4 「ハンドルを回しながら、松井さんは思
います」の後に、「あの子」、つまりぼうしの持
ち主である「男の子」の顔を想像しているこ
ろがあります。

5 「おどろいただろうな。まほうのみかん
と思うかな。なにしろ、ちやうが化けたんだか
ら」。と、男の子の顔を想像した松井さ
んは、楽しくなって「ふふふっ」と「ひと
りでにわらいがこみ上げてき」ているのです。
松井さんは、ちやうをにがしたことをよいこ
とだとは思っていないので、イはまちがいで
す。「男の子のお母さんのふしぎそうな顔」
は松井さんの頭にうかんでいないので、ウも
合いません。

6 直後に「バックミラーには、だれもうつ
ていません。ふり返つても、だれもいま
せん。」と書かれています。松井さんは、後ろ
のシートにすわつていた女の子がいなくなつ
ていたことにあわてているので、イが正解で
す。松井さんはバックミラーで後ろを見てあ
わてたのであり、アの「見たことのない場
所」にきたからでも、ウの「まわりにちやう
がたくさん飛んでいた」のを見たからでもあ
りません。

図書館の達人になろう
漢字の組み立て

10・11 ページ

きほんのワーク

1 おんせい 2 リやうやく 3 うんかい

4 しんせつ 5 かんち 6 しょうめい 7 あつ

8 つうがく 9 ふりつ 10 こうだい 11 えんじ

12 せきしよ

1 料 2 日照 3 熱 4 園児

イ

1 植物 2 雨や天気 3 火

4 かんむり 2 あし 3 によう 4 たれ

5 かまえ

6 (順じよなし) 1 悪・意 2 返・週

7 まだれ 2 うかんむり

3 もんがまえ

てびき

4 ①は「草」や「花」、②は「雪」や「雲」
などの漢字から意味を考えてみます。

7 「まだれ (尸)」と「がんだれ (尸)」、「う
かんむり (尸)」と「わかんむり (尸)」など、
形にているものには注意しましょう。

漢字辞典の使い方
きせつの言葉1 春の楽しみ

12・13 ページ

きほんのワーク

1 かくすう 2 おんくん 3 ぶしゆ

十四〔または14〕

てびき

1 車道のすぐそばに小さなぼうしが落ち
ているのを見た松井さんは、「風がもうひ
とふきすれば、車がひいてしまうわい。」
と心配しています。イのように、だれもぼ
うしに気づかないことをふしぎがたり、
ウのように、ぼうしの持ち主のことを気に
したりしてはいません。

2 松井さんは、はじめは「小さなぼうしが
落ちてい」ると思っていました。そこで、
そのぼうしが車にひかれないよう、別のと
ころへうつそうとしますが、「ぼうしをつ
つまみ上げたたん」もんしろちやうが飛び
出します。そのとき松井さんは、ぼうしが
落ちているのではなく、もんしろちやうを
つかまえておくためにおかれていたのだと
いうことに気づいたのです。

3 「たけの たけお」という子どもがせっ
かくつかまえたもんしろちやうを、松井さ
んはまちがってにがしてしまつたのです。
「せっかくのえものがいなくなつていたら、
この子は、どんなにがっかりするだろう。」
と思つた松井さんは、もうしわけない気持
ちでいっぱいになったのです。アの「ひど
くおこつていた」は、「かたをすばめて」
という様子に合いません。子どものことを
考えていた松井さんは、おまわりさんやま
わりのことなど気にしている様子ではない
ので、ウのようにはずかしがつてもいいせん。

白いぼうし
漢字の組み立て／漢字辞典の使い方

14・15 ページ

まどめのテスト

1 ア

2 例 ちやうをつかまえておくため。

3 イ

4 日の光・見事・すっぱい

5 例 ちやうをにがしてしまつた代わりに、夏
みかんを受け取ってほしいということ。
サン〔またはさん〕・六〔またはろく〕・

答えとてびき

光村図書版

漢字 4 年

「答えとてびき」は、
取り外すことが
できます。

使い方

まちがえた問題は確実に書けるまで、くり返
し書いて練習することが大切です。この本で、
教科書に出てくる漢字の使い方を覚えて、漢
字の力を身に着けましょう。

漢字の組み立て

8・9ページ

練習ワーク

- ① ①りようやく ②うんかい ③しんせつ
④かんち ⑤ひで ⑥しょうめい

4・5ページ

練習ワーク

白いぼうし
図書館の達人になろう

教科書 国語四上 かがやき

- ① ①しんごう ②そくたつ ③と
④うんでんせき ⑤たてもの ⑥な
⑦ともだち ⑧れい ⑨りよう
⑩おんせい ⑪ひこう ⑫けん ⑬た
⑭やさい ⑮たと
- ② ①信号 ②速達 ③飛び ④運転席
⑤建物 ⑥菜 ⑦友達 ⑧例 ⑨料
⑩音声 ⑪飛行 ⑫建 ⑬野菜
①ゆうびん局で速達を出す。
- ③ ①鳥が自由に空を飛び。
②建物の横を通る。
③一面の菜の花。
④具体てきな例をさがす。
⑤発表のし料を配る。

13・15ページ

練習ワーク

漢字辞典の使い方／春の楽しみ
聞き取りメモのくふう／漢字の広場1

- ① ①じてん ②な ③かくすう
④おんくん ⑤ぶしゅ ⑥ぶんるい
⑦じゅん ⑧とうざいなんぼく ⑨やしろ
⑩あいどくしよ ⑪さくや ⑫もと
⑬せいねん ⑭しろ ⑮りっしゅん
⑯おぼ ⑰つた ⑱せつめい ⑲す
⑳しるし ㉑ようてん ㉒もくてき
㉓ひつよう ㉔せいちよう ㉕たぐ
㉖じょうかまち ㉗かんかく ㉘さ
㉙でんき ㉚と ㉛こうい ㉜この
㉝かなめ

8

線の言葉を、漢字で書きましょう。

① きょうりよくなライバル。

② 家族のきょうりよくが大切だ。

③ 国語じてんで調べる。

④ 百科じてんを買う。

⑤ さわやかなきこうだ。

⑥ 旅を終えて船がきこうする。

9

次の言葉と反対の意味の言葉になるように、
つ組み合わせて□に書きましょう。

□の漢字を二つずつ

一つ1(3点)

- ① 失敗
② 入学
③ 人工

功業 天成 卒然

10

次の熟語と漢字の組み合わせが同じ熟語を□から二つずつ選んで、□に書きましょう。

一つ1(6点)

① 希望

② 竹林

③ 高低

勝敗	側面	競争
方法	始末	大差

11

□に「不・無・未」のうち、当てはまるものを書いて、打ち消しの言葉を作りましょう。

一つ1(6点)

①

関係

②

完全

③

開発

④

意味

⑤

景気

⑥

消化

12

次の漢字の赤い部分は、何画目に書きますか。()に数字で書きましょう。また、総画数を□に数字で書きましょう。

一つ1(4点)

① 博

(画目)

画

② 輪

(画目)

画
